

母さん、行かないで

「眞のご父母様に会い、いざ世界へ」
日本青年天一国宣教師団出発のための40
日修練会終了式



写真◎原田義典 撮影◎原田義典

韓国・済平に「宣教師」となる日本の青年僧侶
を薦め、言葉をかける統一協会会員
(中央) =2013年(統一協会関連HPから)

立ですが、食事は「パン」「卵」
が途絶えたため、生活はか
つかりに。「月末になると
父が『今月はあと2000
円しかない』とか話すのが
本当に悲しかった」

母親は2年間、海外で活
動しました。その間、弟の
2、3ヵ月に1回電話があ
る程度でした。「子どもの

パートだった母親の収入
が途絶えたため、生活はか
つかりに。「月末になると
父が『今月はあと2000
円しかない』とか話すのが
本当に悲しかった」

母親は2年間、海外で活
動しました。その間、弟の
2、3ヵ月に1回電話があ
る程度でした。「子どもの

3歳、2歳の娘を置いてア
ルゼンチンに派遣されまし
た。現地の幹部から「家族
が死んでも絶対に帰らな
い。家族を理由に帰れば家
族がさんざん訴される(かげぐ
ちをたたかれる)」と言わ
れたと回想しています。

前田の鈴木さんは、信者
たちが無理な渡航に応じる
理由をこう解説します。

「文鮮明は、日本の母親は
使命があるから基督教信じ
ないわけ不可以」と指示し
ました。信者にとって文鮮
明の言葉は絶対です。母親
はメシアに貢献する以上で
家庭が幸せにならない限りで
海外に行つた。子どもたち
は寂しい思いをしただけで
すが…」



集団結婚した両親を持つ
信者2世の鈴木みらいさん
は、小学校4年生
のときより、母親がある韓國
に派遣のため派遣されま
した。1990年12月のないと
です。弟はまだ保育園の年

生活かつかつに

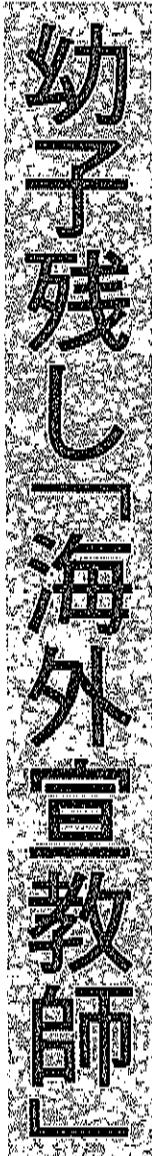
父親は子育てと家事が両
立できず、食事は「パン」「卵」
が途絶えたため、生活はか
つかりに。「月末になると
旅行は、父親がヨーロッパ・舟
旅を弁当箱に詰め替えてい
たところです。

パートだった母親の収入
が途絶えたため、生活はか
つかりに。「月末になると
父が『今月はあと2000
円しかない』とか話すのが
本当に悲しかった」

別の女性は、小学一年生、
3歳、2歳の娘を置いてア
ルゼンチンに派遣されました。
が死んでも絶対に帰らな
い。家族を理由に帰れば家
族がさんざん訴される(かげぐ
ちをたたかれる)」と言わ
れたと回想しています。

前田の鈴木さんは、信者
たちが無理な渡航に応じる
理由をこう解説します。

「文鮮明は、日本の母親は
使命があるから基督教信じ
ないわけ不可以」と指示し
ました。信者にとって文鮮
明の言葉は絶対です。母親
はメシアに貢献する以上で
家庭が幸せにならない限りで
海外に行つた。子どもたち
は寂しい思いをしただけで
すが…」



統一協会(世界平和統一家庭連合)は、日本の信者を海外に「宣教師」として
送り込んできました。小学生のとき母親が「宣教師」で派遣された信者2世は
「母親がいなくなつたからだ」と振返ります。

(統一協会取材班)
成長や心の不安を頼みなか
った

幼児を置いて母親が海外
に派遣された信者家庭はほ
かだもありました。

日本統一協会の田中真弘
会長は昨年8月の記者会見
で「日本の法人が、全世界
に宣教師を派遣していくこ
とは事実です」「世界に活
動が活性・活発化する

川統一運動由来するなど、
1996年11月に南米へ
「宣教師」4500人を出
したもあります。その3カ
月後には協会の開祖文鮮明
から「日本は、4円ばかり
6000人の宣教師を出す
よつだー」と掲示が下った
と記載しています。